

第82回

作品公募

日本画院展

2023 5.29(月) ~ 6.4(日)

9:30 ~ 17:30 休館日なし

(入場17:00まで、最終日入場14:00まで 14:30閉場)

東京都美術館
LB階 第1・2展示室

—新しい日本画の創造—

20号から出品、200号までチャレンジ！

—20号～30号の入選作品は部門独立展示—

口サンゼルス滞在研修 (ロバート・クラウダー賞)

皆様のご応募をお待ち申しあげます

搬入: 2023年 5月 16日(火) 10:00 ~ 15:00

東京都美術館 地下3階 「日本画院展」受付

一般社団法人 日本画院

〒110-0004 東京都台東区下谷2-21-8 河野ビル2F
TEL: 03-6458-1219 E-mail: nihonga-in@silk.ocn.ne.jp
<http://nihonga-in.or.jp/>



2023年 第82回日本画院展 作品公募規定

◎ 会 期 2023年5月29日(月)～6月4日(日) 9時30分～17時30分 入場は17時まで
休館日なし 最終日：入場は14時まで・14時30分閉場

◎ 会 場 東京都美術館 ロビー階 第1・2展示室
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36 ホームページ <https://www.tobikan.jp>

◎ 作品搬入 2023年5月16日(火) 10時～15時 (期日・時間厳守)

◎ 搬入場所 東京都美術館 地下3階作業室「日本画院展」受付 TEL: 03-3823-6921
(東京都美術館代表電話につながりますので、お問合せの際は「日本画院宛」にお願いします)
(作品の搬入は、必ず美術館裏側の搬入口よりおこなってください)

◎ 作品規定 未発表の日本画作品に限ります。出品点数は、2点までとします。
大きさは20号(S・F・P・M)以上、200号(S・F・P・M)以下。
屏風は枠を含めて幅360cm以内。20号～30号の入選作品は部門独立展示します。

◎ 額 装 作品保護のため、必ず額縁をとりつけてください。
額の大きさは自由ですが、ガラス板、アクリル板の使用は不可とします。
額、屏風いずれも、展示用の金具(ヒートン等)を必ず取り付け、展示できる状態で搬入してください。

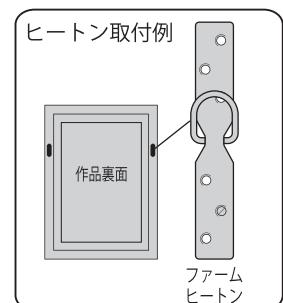
◎ 出 品 料 1点 15,360円／2点目 5,000円 30歳未満(2023年5月29日現在)の方は、1点 3,360円／2点目 3,000円
(払込手数料込み。入選者にはカラー図録を入選1点につき1冊お渡しします)
出品票と共にお送りする専用の払込票にてお支払いください。
尚、一旦納入された出品料は、返却できませんのであらかじめご了承ください。

◎ 出品票(出品申込書)・出品料払込票 入手方法
次のいずれかの方法で、ヤマト運輸株式会社 東京美術品支店「第82回日本画院展」宛にお申し込みください。
①ハガキまたはFAXから
本紙右上のハガキに、必要事項をご記入の上、4月20日(木)までにポストに投函、
FAXの方は、4月25日(火)までにFAX番号 03-6858-7600まで送信してください。
②インターネットから
日本画院ホームページ(URL: <http://nihonga-in.or.jp/>)から入り、2月15日(水)から4月25日(火)までに
ヤマト運輸株式会社 日本画院展専用応募申込みフォームからお申し込みください。
・前回までの日本画院展にお申し込みがあり、ID・パスワードをお持ちの方は、ログイン画面から
ID・パスワードを入力してログインの後「応募登録」に進んで、必要事項を入力してください。
・日本画院展に初めてご出品される人は、ログイン画面の「初めての方はこちらから」をクリックして、
出品者登録の後、「応募登録」に進んで、必要事項を入力してください。

◎ 地方より送付される作品
出品作品は、出品票(出品申込書)と共に依頼される取扱い業者へ、4月26日(水)～28日(金)の期間に
お渡しください。送付作品の梱包箱には「日本画院展作品」と必ず表書きしてください。
※出品料と別に取扱い業者への搬入出代行手数料がかかります。詳細は各業者までお問合せください。
◎ 推薦取扱い業者
ヤマト運輸株式会社 東京美術品支店(営業時間：平日 9時～17時)
〒135-0062 東京都江東区東雲2-2-3 東雲ビル2階 TEL: 03-3527-6683 FAX: 03-6858-7600

◎ 作品搬出 2023年6月6日(火) 10時～15時 (期日・時間厳守)

◎ 搬出場所 東京都美術館 地下3階作業室「日本画院展」受付 TEL: 03-3823-6921
(東京都美術館代表電話につながりますので、お問合せの際は「日本画院宛」にお願いします)
※搬出には必ず、作品預かり証を、受付で提出してください。
※上記規定の日時に搬出されなかった場合、本法人および指定業者はその責任を負いません。
また、期日内での引取りがなかった場合は、指定業者に保管および返送を依頼しますが、
保管料・返送料は、出品者の負担となります。



申込み用ハガキ →

◎ 審査 本法人の定めた第82回日本画院展審査員がこれにあたります。審査の結果及び陳列に対し、出品者が異議を申し立てることはできません。

◎ 授賞 優秀な作品には、下記の賞を呈します。
日本画院賞・望月春江賞・会員賞
ロバート・クラウダー賞・佳作賞・奨励賞
新人賞・小品佳作賞・小品奨励賞 等賞多数
☆ ロバート・クラウダー賞副賞は、最大3ヶ月間のロサンゼルス滞在自由研修(研修内容は、事務局と事前協議のこと)

◎ 図録 入選者には全陳列作品カラー掲載の図録を入選1点につき1冊お渡しします。
会期中、会場で受け取ってください。

◎ 作品絵ハガキ 50枚：14,000円 100枚：15,000円
150枚：16,000円 200枚：17,000円
(1作品あたり)
ご希望の方は、本紙右上のハガキまたはFAX、インターネットの応募申込みフォームにてお申し込みください。
絵ハガキは、会場にて1枚150円で販売し、売上枚数1枚につき20円を手数料とさせていただきます。会期終了後、精算のうえ、改めてご請求いたします。

◎ 作品カレンダー 出品作品と2023年7月～2024年6月のカレンダーです。
A3サイズ(本紙と同じ)。

50枚：20,000円 100枚：30,000円 追加50枚毎10,000円
ご希望の方は、本紙右上のハガキまたはFAX、インターネットの応募申込みフォームにてお申し込みください。
カレンダーは、ニューカラー写真印刷(株)よりご自宅にお届けするか、会場事務所でお受け取りいただきます。
代金は同封の請求書に記載の口座へお振込みください。

◎ 授賞式 2023年6月3日(土)13時30分～15時 東京都美術館講堂

◎ 出品者の集い 2023年6月3日(土)16時45分～ 東京都美術館「ミューズ」

◎ 作品取扱 受付後の作品の取り扱いには、細心の注意を払いますが、作品の損傷・紛失については、理由のいかんにかかわらず、本法人および指定業者は責任を負えませんのでご了承ください。
必要と思われる方は、各自で保険をおかけください。

◎ 著作権 本展覧会陳列作品の、印刷物や放送媒体における著作権は、展覧会期を含めた一年間、本法人に帰属するものとします。
本展覧会事業の広報・宣伝にあたり、出品作品の撮影、カタログやホームページ等への図版及び作品解説の掲載、広報目的の新聞・雑誌などへの掲載ができるものとします。

◎ 個人情報の取扱いについて 応募に関わる個人情報は、個人情報保護法その他関連法令を遵守するとともに、その情報の運用については、本法人および指定業者が適正に管理し、本展覧会事業に関する資料送付、連絡、その他本事業の業務で必要と思われる事項以外での使用はいたしません。

お手数ですが
63円切手を
お貼り下さい

1 3 5 0 0 6 2

東京都江東区東雲2-2-3 2F

ヤマト運輸株式会社
東京美術品支店
「第82回日本画院展」係 行

「第82回日本画院展」出品票・出品料払込票申込み・弊社ハガキ申込み

下記を楷書でハッキリとご記入の上、
郵便の方は2023年4月20日(木)までにポストに投函してください。
FAXの方は2023年4月25日(火)までに03-6858-7600へ送信してください。

住 所 □□□□□□□□□□

市
都
区

会員ID: NGI フリガナ 男
※お持ちの方のみお書き下さい 氏名: 女

電話番号: 生年月日(西暦 年月日)

出品点数 点 日本画院展への入選回数 初出品・()回出品
1点目(50枚・100枚・150枚・200枚)・しない
2点目(50枚・100枚・150枚・200枚)

絵ハガキ申込 カレンダー申込 1点目(50枚・100枚) 2点目(50枚・100枚)・しない
※必要事項に○を付けて下さい

(キリトリ線)

日本画院展 搬入出推薦業者

搬入出代行は



ヤマト運輸

東京美術品支店 TEL:03-3527-6683
(東京都江東区)

北海道美術品センター TEL:011-796-9935
(北海道札幌市)

東北美術品支店 TEL:022-706-1579
(宮城県仙台市)

長野駐在員事務所 TEL:0263-31-5120
(長野県塩尻市)

中部美術品支店 TEL:0568-51-3961
(愛知県春日井市)

関西美術品支店 TEL:06-6612-8760
(大阪府大阪市)

京都美術品支店 TEL:075-602-4193
(京都府京都市)

中国美術品支店 TEL:082-831-0027
(広島県広島市)

九州美術品支店 TEL:092-629-3111
(福岡県福岡市)

82nd Exhibition of Nihonga-In

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、私達の公募展覧会が開催できなかった2年間の空白を乗り越えて、東京都美術館で2022年5月、第81回日本画院展を開催することができました。皆様に厚くお礼申しあげます。

公募展を開催できること自体が喜びであることをかみしめ、2023年の第82回展を、私達は気持ちを新たにして迎えます。全国の皆様の作品応募をお待ちしております。

1938年(昭和13年)の創立以来80年余、日本画の公募団体として今日まで活動を続けてまいりました。

私たちは創立時の自由で清新な気風を継承し、現代感覚にあふれた新しい日本画の創造を目指すと同時に、国際的な視野を持った人材を育成することにも取り組んでまいりました。その一つが、アメリカ・ロサンゼルスでの最大3ヶ月の滞在研修を副賞とした、ロパート・クラウダー賞です。同賞は、ロパート・クラウダーの遺志を引き継いだ、ロサンゼルス在住の日本画院顧問の棚野泰全氏の協力により創設されました。第73回展以来、すでに9名の受賞者を輩出しています。研修された方々は、様々な美術や文化にふれることにより、日本画への創作意欲を高めてきております。

これらの取り組みにより、新しい視点や価値観による日本画の創造に繋がり、次の世代への架け橋となっていくことが、私たちの願いです。

私たちは引き続き、明日へのエネルギーに満ちた創作活動を続けていきたいと考えております。
なにとぞご高覧ご批評を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

— 第81回日本画院展 受賞作品 —

■ 望月春江賞



「白南風の木陰」伴 奏弥

■ 望月春江賞



「寒月」瀧上伸子

■ ロパート・クラウダー賞



「薩摩地鶏図」渕脇啓太郎

■ 会員賞



「遠い街へ」岩崎英子

■ 会員賞



「孤高」鎌田悦子

■ 会員賞



「愛い間」若松トシ子

■ 日本画院のあゆみ

1938年(昭和13年)

4月12日 東京において協議会が開かれ結成。

1939年(昭和14年)

4月22日～5月7日 東京府美術館において第1回展開催。

主旨(抜粋)

今日、日本画壇を見るに、全般の日本画人にとって公共の作品発表機関となし得るものは稀である。

日本画院はここに作品を公募して作品発表機関を提供し、新たなる時代を負うべき鋭意の作家を迎えて、共に研鑽しその発達奨励に寄与せんことを期するものである。

《創立同人》 岩田正巳 服部有恒 崎山錦成 西沢笛歎
川崎小虎 吉岡堅二 吉田秋光 高木保之助 吉村忠夫
常岡文亀 根上富治 永田春水 野田九浦 矢沢弦月
松本姿水 福田豊四郎 小泉勝爾 穴山勝堂 飛田周山
望月春江 森 白甫

1945年(昭和20年)

戦争の悪化と敗戦。

激変する社会状況の中で、展覧会の開催は2年間見送られる。

1947年(昭和22年)

東京都美術館において第7回展を開催。以後毎年開催。

2009年(平成21年)

公益法人法に則り一般社団法人として出発。

2010年(平成22年)

上野の森美術館において第70回記念日本画院展を開催。

2012年(平成24年)

新装なった東京都美術館において第72回日本画院展を開催。

2013年(平成25年)

第73回日本画院展を開催。ロパート・クラウダー賞創設。

2015年(平成27年)

第75回記念日本画院展を開催。

2020年(令和2年)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため第80回記念展を1年延期。

2021年(令和3年)

第80回記念日本画院展は、東京都美術館が休館延長となり展示中止。

2022年(令和4年)

第81回日本画院展を開催